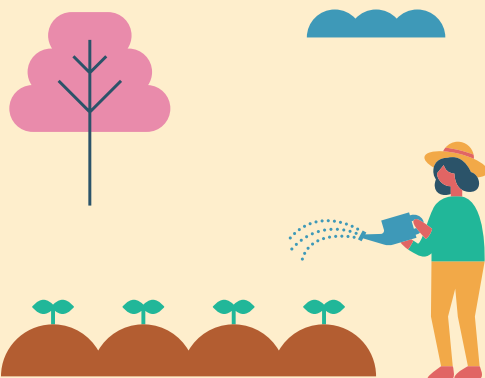
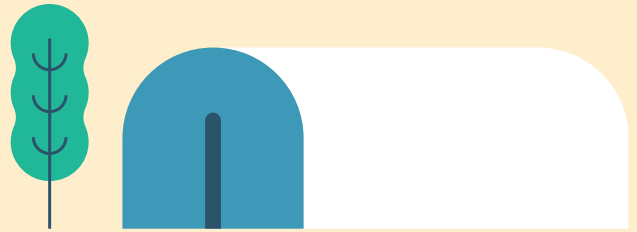
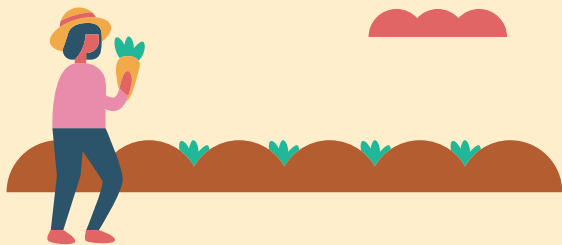




Disclosure 2019

JA岩手県信連 上半期の概況



経営方針

経営理念

存在意義として

私たちは、協同組合精神のもと地域金融機関として、J Aとともに金融サービスの提供を通して農家経営の向上を図り、併せて岩手の農業と地域経済の発展に貢献します。

経営姿勢として

私たちは、J Aバンクの一員として、コンプライアンスをモットーに安定的で健全な経営を目指します。

行動規範として

私たちは、信頼に対し「信用・奉仕・創造」をもって行動します。

第18次経営3か年計画

基本目標 ～経営理念の実現に向けた3年後のあるべき姿～

農業法人・地場企業等の成長支援により、地域経済の活性化に貢献できていること。

J Aバンク岩手の事業運営体制の合理化・効率化が進展し、機能集約による質の高いサービスが提供できていること。

経営指導の強化により、J Aが総合事業体として運営していくために必要となる高度な内部管理態勢が確保されていること。

上記により、J Aバンク岩手の持続可能な経営基盤への変革が進展していること。その進展を支える当会の収益力が確実に向上していること。

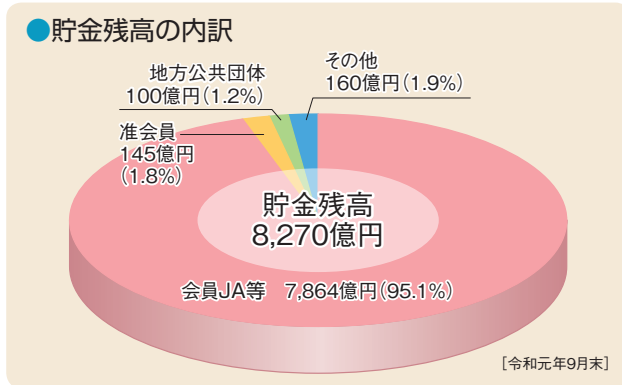
基本戦略 ～基本目標達成のための戦略の柱～

- 農業・地域の成長支援
- 貸出の強化
- ライフプランサポートの実践
- 組合員・利用者接点の再構築
- 東日本大震災からの復興支援
- J A・県域一体の変革実践
- J Aの内部管理態勢構築・健全性確保
- 運用資産の見直し並びに業務の変革による当会収益の確保と還元実施

社会的責任・地域貢献情報

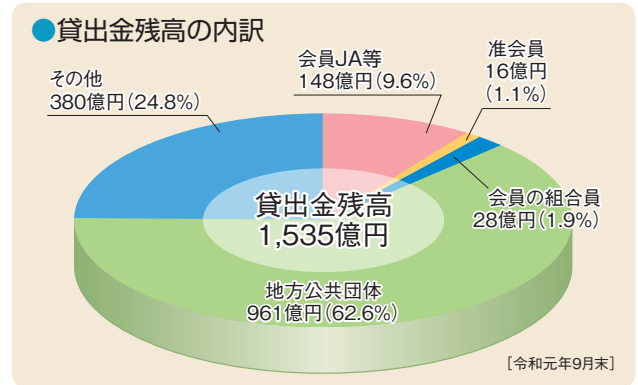
■ 地域からの資金調達状況

当会の資金は、その大半が県内JAにお預けいただいている農家組合員および地域のみなさまの大切な財産である貯金を源泉としております。



■ 地域への資金供給状況

当会では、農業関連団体のみなさまはもとより、岩手県をはじめとする地方公共団体、さらには地域経済を支える地元企業のみなさまにもさまざまな用途の資金をご用意し幅広い融資を行っております。



■ 地域密着型金融への取り組み

当会は、農業専門金融機関として、食の安全と安心を地域のみなさまにお届けすることを金融面からサポートするとともに、地域のみなさまの事業や生活の向上に資するべく幅広い金融サービスの提供に努めております。

これらを実現するため、「農業金融センター」を設置し県内JAの「担い手金融リーダー」と連携して、農業者のみなさまからの幅広い金融相談対応や金融サービスの提供に努めるとともに、農業者の所得増大に向けて各種事業に取り組んでおります。

また、地域経済の発展に向けて、地場企業のみなさまに対する経営支援や資金融通、地域住民のみなさまへの貯蓄手段や生活資金ニーズにお応えする商品提供に、JAと一体となって取り組んでおります。

6次産業化・農商工連携の取り組み

当会では、岩手県等と「いわて食の大商談会2019」を共催し、県内JAとともに加工業者等に県産農畜産物をご紹介するなどビジネスマッチングに取り組んでおります。

また、6次産業化の取り組みを促進するため、行政と連携し、関係機関との情報共有を図っております。



「いわて食の大商談会2019」にて

金融円滑化に向けた取り組み

当会では、「金融円滑化にかかる基本的方針」を定め、協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「当会の最も重要な役割のひとつ」として位置付け、その実現に向けて取り組んでおります。

経営者保証に関するガイドラインへの対応

当会は、経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会および日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を尊重し、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めております。

■ お客様本位の業務運営に関する取組方針

当会では、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、取組方針を設定いたしました。今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客様本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。



<https://www.jaiwate.or.jp/jabank/shinren/customer>

自然災害による農業被害等への金融支援

豪雨などの自然災害等による農業経営の被害に対し、一日でも早い復旧・営農再開に資するよう、迅速な金融支援対応を可能とする「JAバンク自然災害対応特別支援資金」を制定し、被災農家の資金需要に対応しております。

文化的・社会的貢献活動

開催した主なイベント

● JAバンク岩手グラウンド・ゴルフ大会、ゲートボール大会

年金友の会会員を中心に、健康増進や地域間交流・親睦および健康で豊かな年金生活の支援を目的に開催しました。



「JAバンク岩手グラウンド・ゴルフ大会」にて

開催した主な相談会等

● 年金相談会の実施

県下JA24店舗で社会保険労務士による無料年金相談会を開催し、多くのみなさまの相談に応じ、各種手続き等のお手伝いをさせていただきました。

窓口セールスロールプレイング大会

利用者のライフイベント・ニーズに応じた提案ができるテラーの育成を図るため「JAバンク岩手第13回窓口セールスロールプレイング大会」を開催しました。



「窓口セールスロールプレイング大会」にて

友信会の活動

友信会は、当会が融資のお取引をいただいている各企業様を会員とし、金融の円滑化を図るとともに、会員相互の親睦・交流・情報交換の場を提供することを目的に運営しております。

(会員数117社 令和元年9月末)

岩手県学校農業クラブ連盟大会への支援

農業を学ぶ高校生が日ごろの学習成果を披露する場として開催している「岩手県学校農業クラブ連盟大会」(県学校農業クラブ連盟主催)において、最優秀賞受賞校に対し、「JAバンク賞」として賞状と副賞を授与し、将来の農業を担う学生を後押ししております。



「岩手県学校農業クラブ連盟大会」にて

JAいわてグループ自己改革への取り組み



J Aいわてグループでは、「農家組合員の所得増大・農業生産の拡大」に向けて、「J Aいわてグループ農業担い手サポートセンター」を設置し、「J Aいわてグループ農業担い手サポート事業」に取り組んでおります。

当会においても、下記事業を中心として「同サポート事業」に取り組むほか、金融業務の効率化策や各種サービス提供に取り組むことにより、農業および地域の発展に貢献していきます。

農家組合員の所得増大・農業生産の拡大

- ・「出向く活動」の実践
- ・農業資金・農業経営に関する相談対応
- ・農業近代化資金等の保証料助成

地域の活性化（組合員・利用者へのサービス提供を通じた地域の活性化）

- ・農業応援金融商品の企画・販売
- ・タブレット端末の活用・機能強化支援
- ・移動店舗車の配備

持続可能なJ A経営基盤の確立

- ・J A営農・経済事業の成長・効率化支援
- ・テレビ会議システムの導入・活用

以下に、令和元年度上半期の主な取り組み内容をご紹介します。

● 県内J Aの「担い手金融リーダー」と一緒に農業者のみなさまを訪問する「出向く活動」の実践に加え、新農業人フェアや農機展示会における農業資金相談ブースの出展などにより、農業資金や農業経営に関する相談に対応しております。

また、農業経営の金融負担の軽減に向けて、農業近代化資金やJ A農機ハウスローン等の保証料助成事業を実施しました。

● お客さまへのわかりやすい説明や担当者の事務効率を目的に、タブレット端末を県下J A全渉外担当者に導入しております。今後もシステム導入・事務効率化を通じ、サービスの向上に努めます。

● J Aが将来にわたって持続可能な経営基盤を確立するため、農林中金、他連合会とともに、J A新しいわてでのJ A営農・経済事業の成長・効率化に向けた取り組みを支援しました。



「JA営農・経済事業の成長・効率化戦略」実践にかかる最終報告会

上半期の経営状況

■主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
貯金	909,525	824,824	827,068
貸出金	155,680	161,134	153,581
有価証券	134,000	128,659	141,272
預け金	673,978	578,046	581,489

[注] 1.貯金には、譲渡性貯金を含んでおります。
2.有価証券には、金銭の信託を含んでおりません。

■損益の状況

(単位：百万円)

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
業務純益	704	635	844
経常利益	857	750	1,100
当期剰余金	609	582	827

[注] 業務純益とは、事業粗利益から経費および一般貸倒引当金繰入額を控除したものです。

■自己資本比率の状況

(単位：百万円、%)

		平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
コア資本に かかる基礎項目	会員資本	36,470	40,152	40,980
	引当金	2,217	2,272	2,264
	適格旧資本調達手段	985	-	-
コア資本にかかる調整項目		17	17	13
自己資本総額		39,655	42,407	43,231
リスク・アセット等計		274,998	288,599	294,800
自己資本比率		14.42	14.69	14.66

■ 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区分	平成30年9月末			平成31年3月末			令和元年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	128,954	134,000	5,045	122,989	128,659	5,669	135,178	141,272	6,093
合計	128,954	134,000	5,045	122,989	128,659	5,669	135,178	141,272	6,093

【注】有価証券の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。取得価額は、その他目的有価証券については償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しております。

【金銭の信託】

(単位：百万円)

区分	平成30年9月末			平成31年3月末			令和元年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
運用目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3,500	3,450	△49	4,000	3,897	△102	5,000	4,935	△64
合計	3,500	3,450	△49	4,000	3,897	△102	5,000	4,935	△64

【注】金銭の信託の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。取得価額は、その他目的金銭の信託については償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しております。

■ 金融再生法開示債権（単体）

(単位：百万円)

債権区分	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	624	527	516
危険債権	2,503	2,327	2,260
要管理債権	246	-	-
小計	3,373	2,855	2,776
正常債権	153,336	159,383	151,970
合計	156,710	162,238	154,746

【注】1. 破産更生債権およびこれらに準ずる債権とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。
2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状況および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取ができない可能性の高い債権をいいます。
3. 要管理債権とは、3か月以上延滞債権で、注1および注2に該当しないものおよび貸出条件緩和債権をいいます。
4. 正常債権とは、債務者の財務状況および経営成績に特に問題ないものとして、注1、注2および注3に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

■ リスク管理債権の状況（単体）

(単位：百万円)

区分	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
破綻先債権額	207	-	137
延滞債権額	2,871	2,811	2,596
3か月以上延滞債権額	132	-	-
貸出条件緩和債権額	113	-	-
合計 (A)	3,325	2,811	2,733
担保・保証による保全額 (B)	1,138	1,041	991
個別貸倒引当金引当額 (C)	1,588	1,497	1,458
担保・保証等控除後債権額 (A-B-C)	598	273	284

【注】1. 破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分は除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じているものをいいます。
2. 延滞債権とは、未収利息不計上貸出金で、注1に掲げるものおよび債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外のもをいいます。
3. 3か月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している貸出金（注1、注2に掲げるものを除く。）をいいます。
4. 貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払い猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金（注1、注2および注3に掲げるものを除く。）をいいます。

※計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示していることから、合計増減などが表示上の計算と一致しない場合があります。
※構成比は100に調整しております。

JAバンク 岩手



プロフィール（令和元年9月30日現在）

名 称／岩手県信用農業協同組合連合会
所 在 地／岩手県盛岡市大通一丁目2番1号
設 立／昭和23年8月14日
貯 金 残 高／8,270億円
貸 出 金 残 高／1,535億円
自己資本比率／14.66%
職 員 数／83名

2019 JA岩手県信連 上半期の概況

JA岩手県信連 総務企画部
〒020-0022 盛岡市大通一丁目2番1号
TEL 019-626-8700
URL <https://www.jaiwate.or.jp/jabank/shinren/>

令和元年12月発行

